MESCO 専用

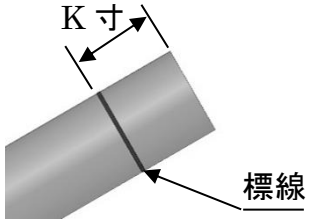
スッポンMWジョイント(インコア付)100～200施工手順
(SDR－11・SDR－13.6) 用

⚠注意	・ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意をして下さい。 ・標線を記入せずに接合した場合、挿入不足または突き当て施工によるパッキンの締付トルク不足によって漏水につながる恐れがあります。 ・本施工手順はストップリングと押リングに Ⓚ の押印があるスッポンMWジョイント100～200 専用です。押印がない製品には対応しておりません。

①パイプ挿入量記入

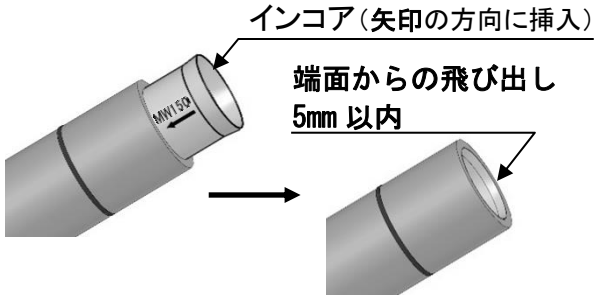
パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線**を記入して下さい。

・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。



②インコア挿入

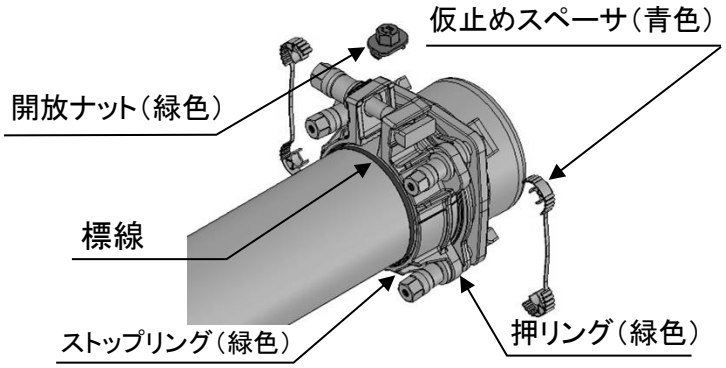
インコアを矢印の方向に挿入して下さい。
(パイプ端面よりインコアが 5mm 以上飛び出さないように、**樹脂製ハンマー**で打ちこんで下さい。)



③パイプ挿入

分解せずに継手を**標線**まで入れ、**仮止めスペーサと開放ナット(緑色)を取り外します。**

・仮止めスペーサが外れにくい場合は押リング締付ナットを少し緩めて下さい。
・開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向(左回り)に回して取り外して下さい。



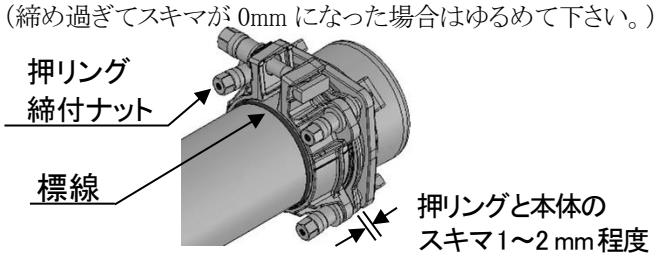
□K 寸とボルトサイズ表

呼び径	K 寸 (mm)	ボルトサイズ (参考:締付トルクN・m)	
		押リング	ストップリング
100	130	M16 (50)	M20 (50)
150	155	M20 (50)	M24 (70)
200	200	M24 (65)	M24 (80)

低温時は締付トルクが高くなります。

④押リング仮締め

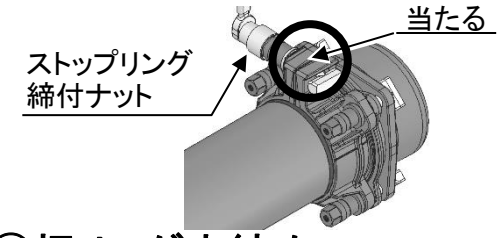
ストップリングを**標線と合わせた状態**で、
押リングと本体のスキマが 1～2mm になるまで、
押リング締付ナットを均等に締め付けて下さい。
(締め過ぎてスキマが 0mm になった場合はゆるめて下さい。)



⑤ストップリング本締め

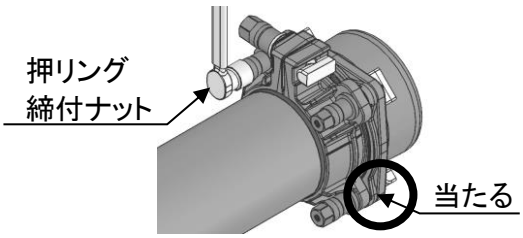
ストップリング先端が当たるまでストップリング締付ナットを**本締め**して下さい。
「K 寸とボルトサイズ表」参照

・呼び径200の場合は、締付ボルトが**2本あるので ひんぱんに交互に締め付けて下さい。**



⑥押リング本締め

押リング締付ナットを**押リングが本体に当たるまで** 数回にわたり**均等に本締め**して下さい。



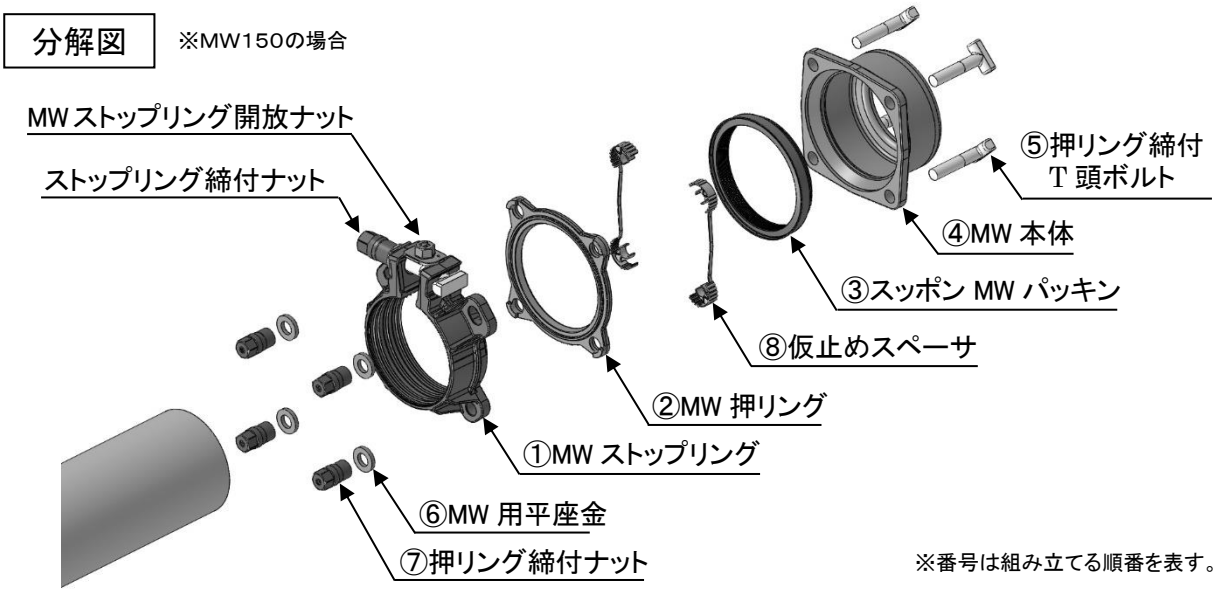
(株)川西水道機器 TEL:087-805-0001(施工コールセンター)
FAX:087-877-2801

2019.01.11

標線位置
K寸メジャー
5 10 15 20 25 28
[cm]
(管端側)

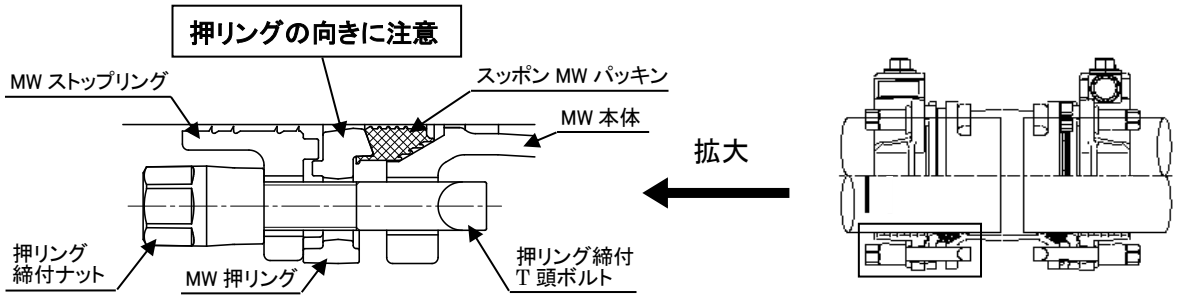
1. 分解した時の施工手順

分解図　※MW150の場合



※番号は組み立てる順番を表す。

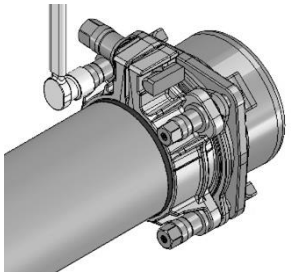
2. 分解施工時の注意事項



⚠ 注意	・分解した受口を組み立てる際は、部品の向きに注意して下さい。 部品の向きを間違えた場合、漏水等事故の危険性があります。

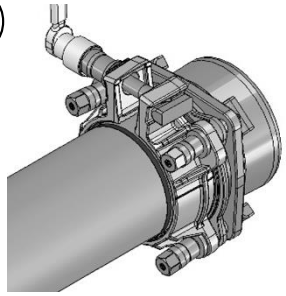
3. 取り外し手順

①



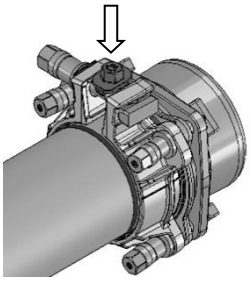
押リングを緩めて下さい。

②



ストップリングを分解しない程度まで緩めて下さい。

③

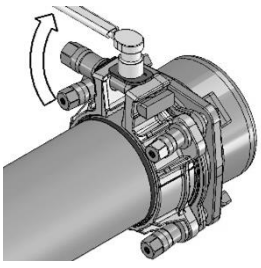


ストップリング先端のスキマに開放ナットを挿入して下さい。

開放ナットサイズ

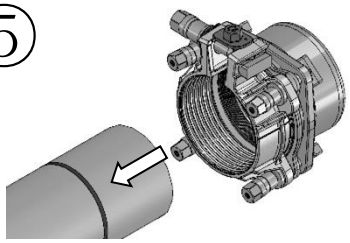
呼び径	ナットサイズ	対辺
40	M16	24
50	M16	24
75	M16	24
100	M16	24
150	M20	30
200	M24	36

④



開放ナットを「O」の方向（右回り）に 90° 回す。

⑤



ストップリングが開放されますのでパイプを外して下さい。
（開放ナットが外れることがあるので注意して下さい。）